

演習Ⅰ

科目ナンバリング SEM-301
必修 2単位

高井 正

1. 授業の概要(ねらい)

この講座は、①財政に関する文献の輪読、②財政の諸課題をテーマとする学生自らの手による資料収集・レジュメの作成・ゼミでの発表・討論、などを通じて財政問題に対する分析能力を高めるとともに、卒業後の社会生活におけるプレゼンテーション能力を身につけることを目的とする。

さらに秋学期終了時に、『帝京経済学生論集』へゼミ論文を掲載することを最終目標とする。

この講座は、こうした財政学の視点から現代の財政問題について考察する前期の演習である。

2. 授業の到達目標

- ・学生が、プレゼンテーション・討論を通じて、実社会で必要となる資料の作成・発表能力を修得する。
- ・学生が、現代社会における財政の役割を説明できる。
- ・学生が、現代財政が抱える課題を分析できる。

3. 成績評価の方法および基準

発表時のプレゼン・レジュメ内容(30%)、討論時の討論内容(30%)、期末課題レポートの内容(40%)などを踏まえて、総合的に評価する。

なお、出席率が2/3未満の学生は、元々「成績評価の対象外」であるので注意すること。

4. 教科書・参考文献

教科書

神野直彦 『財政のしくみがわかる本』、2007年(800円+税)

岩波書店

参考文献

神野直彦 『「分かち合い」の経済学』、2010年(740円+税) 岩波書店

神野直彦 『財政学[改訂版]』、2007年(3,200円+税) 有斐閣

高井 正 『地方独自課税の理論と現実』、2013年(3,800円+税) 日本経済評論社

5. 準備学修の内容

- ・テキストによる予習
- ・報告担当時におけるレジュメの作成
- ・報告担当外の場合の討論コメントの準備
- ・期末課題レポートの作成

6. その他履修上の注意事項

- ・3年次の科目として配当されている「財政政策論Ⅰ・Ⅱ」の講義を履修することを希望する。
- ・秋学期の講座である「演習Ⅱ」との連続履修を希望する。
- ・授業を集中して受講する学生を希望する(私語は厳禁。退席を求める場合もある)。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンスー各ゼミ生による自己紹介、志望動機・執筆論文テーマ案の発表
- 【第2回】 論文・レポート・レジュメの作り方の学習
- 【第3回】 メリックガイダンス(引用文献・参考資料の検索方法の学習)
- 【第4回】 各回の発表・討論担当の決定、レジュメの作成作業
- 【第5回】 テキスト第1章(財政の意義)の発表・討論
- 【第6回】 テキスト第2章(予算論)の発表・討論
- 【第7回】 テキスト第3章(租税論①ー直接税・間接税)の発表・討論
- 【第8回】 テキスト第3章(租税論②ー付加価値税・固定資産税)の発表・討論
- 【第9回】 テキスト第4章(歳出論)の発表・討論
- 【第10回】 テキスト第5章(公債論)の発表・討論
- 【第11回】 テキスト第6章(中央・地方政府間財政関係)の発表・討論
- 【第12回】 テキスト第7章(現代財政の課題)の発表・討論
- 【第13回】 テキスト第8章(財政の未来像)の発表・討論
- 【第14回】 前期の総括、期末課題レポートの出題
- 【第15回】 期末課題レポートの評価・講評、後期執筆論文テーマ案の提出